

※中長期目標改定版の項目番号にて作成

横断的な施策に係る顕著な成果一覧 (産業振興)

評価項目*及び顕著な成果 (*下線は、「多様な国益への貢献：宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現」の対象項目)

- 3.1 準天頂衛星システム等： 4.1項に関連記載無し。(参考：3.1項において、年度計画で設定した業務を計画どおり実施。)
- 3.3 宇宙状況把握： 4.1項に関連記載無し。(参考：3.3項において、年度計画で設定した業務を計画どおり実施。)
- 3.5 衛星リモートセンシング：4.1項に関連記載無し。(参考：3.5項において、次の顕著な成果有り：インフラ変位監視ツール(ANATIS)に関する民間利用事業者とのライセンス契約、政府の衛星データプラットフォーム(Tellus)を通じたJAXA衛星データの提供拡充。 A-15~16ページ参照)
- 3.7 国際宇宙探査： 4.1項に関連記載無し。(参考：3.7項において、次の顕著な成果有り：トヨタ自動車(株)ともに、有人と圧ローバが開く月面社会をテーマに、非宇宙分野の異業種間での勉強会を実施。 A-136参照。)
- 3.8 ISSを含む地球低軌道活動：
A-122ページ参照 【宇宙メディア事業やSpace Food X等、J-SPARC活動を通じた「きぼう」活用の取り組み】
A-117、121ページ参照 【民間事業者等の事業としての自立化を目指して、事業者の公募選定を実施し、Space BD(株)と基本協定を締結】
- 4.1 民間事業者との協業等の宇宙利用拡大及び産業振興に資する取組：
4.1項 主に B-4~B-5ページ参照 【J-SPARCを通じた成果：衣食住分野における新たなアプローチでの共創活動の発展】など
B-4~B-5ページ参照 【宇宙ベンチャーにおける追加資金調達の実現】など
- 4.2 新たな価値を実現する宇宙産業基盤・科学技術基盤の維持・強化（スペース・デブリ対策、宇宙太陽光発電含む）：
B-31ページ参照 【宇宙デブリ対策（デブリ拡散防止装置の事業化）について、J-SPARCプログラム初の事業共同実証活動に着手】

※ なお、これらの成果は、各評価項目の活動における観点でそれぞれ評価しており、二重に評価しているものではない。